

緑の丘から

緑の誓い

☆☆☆ さわやかにあいさつをします
 ☆☆ 進んで勉強をします
 ☆☆ きまりを守ります
 ☆☆ 心をこめて掃除をします
 ☆☆ みんなど仲良くします



新たな仲間

先日、文書でお知らせしたように、十一月から、本校に新たな仲間が加わり、職員は「学校適応支援員」と言いまします。これまで、福江中学校に一名常駐の学校適応支援員がいましたが、十一月から増員され、二名体制となりました。本校に来てくださる支援員は、境目幸恵先生です。本校へは、毎週、月曜日と水曜日に勤務となります。どうぞよろしくお願いたします。なお、「学校適応支援員」の業務内容等については次の通りです。

一 配置の目的

○ 学校において、児童が悩みや不安等について相談できる「学校適応支援員」を配置することで心のゆとりを持てる環境を作る。

二 主な業務

○ 日常的に様々な形で児童に働きかけを行い、信頼関係を築いて、児童の悩みや不安の相談に乗り、話し相手になる。

三 相談要領

○ 子どもたちには、何か困ったこと、聞いてもらいたいことなどがあつたら昼休み時間に自由に話しに言ったよといっています。

四

○ スクールカウンセラーとの違い
 士等の資格を持つ心理教育の専門家です。その立場から相談に来た子どもたちにアドバイスを行います。一方、学校適応支援員は、「子ども」の話に善意で耳を傾ける温かい人というような立場で子どもたちに接していくこととなります。

小学校には初めての配置なので、定着するまでは時間がかかるとは思いますが、子どもたちの不安やストレスの軽減等に役立つよう、境目先生と話し合いながらこの制度をより良いものにしていきたいと考えています。



境目 幸恵先生



子どもたちの困り感が少しでも軽くなるように「心の休けい室」としてお手伝いをしていきます。どうぞよろしくお願いたします。

読書の秋 パート2

本格的な読書の秋です。本校においても図書委員会を中心にさまざまな取組を行います。その取組を紹介いたします。

読書しりとり

○ 読んだ本の書名（又は著者名）をしりとりでつなぐようにして選書し、読んだ用紙に記録していく。ゴールすると図書委員会からプレゼントがもらえる。

読書ビンゴ

○ 図書委員会が用意したビンゴ用紙に書いてある本を読んだらまずに色を塗る。縦・横・斜めどれでも一列揃ったらビンゴ!!

読んでほしいおすすめの一冊

○ 自分がおすすしたい本を、カードに書いて（本の書名・感想・紹介等）、図書委員会に渡す。

家族で十分間読書運動

○ 十月二十八日～十一月十五日の間に実施します。お子さんが持ち帰ってきた「読書ふれあいカード」に、家族で十分間読書運動に取り組んだらその都度親子で感想を一言書いてもらいます。

感想は図書だよりで紹介します。ぜひ積極的に取り組んでみてください。